

『日本館譯語』中日対音考釈

松 本 丁 俊 丁 鋒

中国明代にいわゆる甲・乙、丙三種の『華夷譯語』という中外対訳語彙集が編纂された。『日本館譯語』は丙種本に収められた十三国訳語の一つである。内容は天文、地理など十八門に分け、566個ほどの日本語語彙(寄語)を中国語で「意味、発音」の順に書き並べている。この資料は室町時代の日本語語彙と音韻の研究に対して、貴重な外国資料の一つである。

伊波普猷著『日本館訳語を紹介す』(1932)は『日本館訳語』に関する最初の研究である。それ以来、語彙の解説、音声の説明、版本の考証、索引の作成など様々な研究が盛んになり、大いに成果があがったのである。

さらにもう一步ふみ出し、本文は先達の方々の研究を参考し、『日本館訳語』に漢字音記されている十五・六世紀頃の日本語寄語を解説し、同時代の代表的な音韻辞書を利用し、日中対音を考釈・再現する。再現された対音は細かい、対照的な音声表現力を持ち、日中両国語、特に日本語の音韻研究に、参考の価値が有ると思う所存である。

対音考釈にあたり、日本語の音記、意味とその漢字表記は基本的に『日葡(ポルトガル)辞書』(1603)を引用する。別の資料を参考した場合、そのつど説明を加える。寄語を表記した対音字(音記漢字)の発音は中国明代の官話音であるので、中国語音の表記は主として羅馬字(ローマ字)表記辞典の『西儒耳目資』(金尼閣(ニコラウス・キンNicolas Trigault)1626)を参考する。『西儒耳目資』にない対音字は同時代に代わる官話音資料を引用。

再現された対音は国際音声記号で統一、国際音声記号が両書のローマ字と異なるのは以下に対照する：

日葡辞書：k (国際音声) ← q, c (ローマ字) ʃ ← x tʃ ← ch Φ ← f

i ← I, j, y u ← v gi ← gui。促音は後の子音を一回繰返して表す。
長音節（*ö*、*ô*など）の表記は項目ごと説明する。

西儒耳目資：ts ← ç tʃ ← ch ʒ ← j ʃ ← x x ← h ŋ ← g
u ← v -ŋ ← -m i ← ie u ← *ö* ɿ（舌尖前開口母音）← *ü*。tʃ・
ʒ・ʃは舌尖後音に準ずる。有気音は無気音の後に「h」を附く。声調符号と入
声韻尾は省略。

考釈文に各門と各項目の前に附けた番号は原本に記載されておらず各項目、例えば第一條の「天 唵喇」の後に ↔ の前後の方括弧にそれぞれ明代官話音 (sola) と日本語音による解読音 (sora) である。() の中は日本語の漢字表記である。一度説明した言葉は次回出てくる時説明を省略する。例えば、5 條の「風」は説明してから、後の風吹、大風、有風、無風には風について説明しない。

版本は『纂輯日本譯語』に収められた四つの版本を根拠とする。ロンドン大学本は「原本」とし、阿波国文庫本(阿波国本と略称)、稲葉君山旧蔵本(稲葉本と略称)、静嘉堂文庫本(静嘉堂本と略称)は校本とし、三つの校本は諸本とする。

参考文献：

[和文]

石田幹之助(1930)『女真語研究の新資料』(『桑原博士還暦記念東洋史論叢』
所載)

伊波普猷(1932)『「日本館訳語」を紹介す』(『方言』第二卷第九号)

秋山謙藏(1933)『明代における支那人の日本語研究』(『国語と国文学』第
十卷第一号)

浜田敦(1940)『国語を記載せる明代支那文献』(『国語国文』第十卷第七号)

浅井恵倫(1940)『校本日本訳語』(『安藤教授還暦祝賀記念論文集』三省堂)

渡辺三男(1960、1961)『「華夷訳語」および「日本館訳語」について』(『駒
沢大学研究紀要』第十八、十九号)

大友信一 (1961) 『室町時代の国語音声の研究』 (至文堂)

京都大学文学部国語学国文学研究室 (1968) 『纂輯日本譯語』 (京都大学国文学会)

大友信一 木村晟 (1968) 『「日本館訳語」本文と索引』 (洛文社)

木村晟 李俊生 (1974) 『「琉球館訳語」本文と索引 (その1)』 (『駒沢大学外国語部研究紀要第3号』)

坂井健一 木村晟 (1975) 『「日本風土記」・「日本寄語」・「日本館訳語」・「琉球館訳語」・「朝鮮館訳語」・「日本一鑑」寄語対照手冊』 (近世中国における日本語研究会)

李俊生 (1979) 『「日本一鑑」寄語音考』 (渡辺三男博士古稀記念日中語文交渉史論叢』 所載)

土井忠生等 (1980) 『邦訳「日葡辞書」』 (岩波書店)

福島邦道 (1993) 『日本館訳語考』 (笠間書院)

丁鋒 (1996) 『「琉球館訳語」解説文 (一)』 (『琉球の方言』 20号)

[中文]

金尼閣 (1626) 『西儒耳目資』 (国立北平図書館蔵本の覆刻本、天一出版社)

徐孝 (1606) 『重訂司馬温公等韻図経』 一卷 『合併字学集韻』 十卷

藍茂 (1642) 『韻略易通』 (台湾廣文書局 1962年影印本)

畢拱辰 (1642) 『韻略彙通』 (同上)

李新魁 (1983) 『漢語等韻学』 (中華書局)

耿振生 (1992) 『明清等韻学通論』 (語文出版社)

丁鋒 (1995) 『流漢對音与明代官話音研究』 (中国社会科学出版社)

一 天文門

1. 天 唵喇 [sola] ↔ [sora (空)]
2. 日 非禄 [filu] ↔ [Φiru (昼)]
3. 月 讀急 [tuki] ↔ [tuki (月)]

「讀」の発音によると、第一音節の子音は破裂音の「ts」ではなく、閉鎖音の「t」である。『琉球館訳語』に「月 都及」、「都」も「tu」と読む。

4. 星 波世 [poʃi] ↔ [poʃi (星)]

「波」の発音によると、第一音節の子音は摩擦音の「Φ」ではなく、閉鎖音の「p」である。『琉球館訳語』に「星 波矢」と同じである。

5. 風 刊節 [khantsie] ↔ [kandzie (風)]

第二音節濁子音「dz」の前に「n」の鼻音が有る。

6. 雲 枯木 [khumu] ↔ [kumo (雲)]

7. 雷 納禄嗑密 [nalukhami] ↔ [narukami (鳴神)]

諸本は「密」が「蜜」[mi]とある。

8. 雨 阿密 [ami] ↔ [ame (雨)]

9. 霜 世莫 [ʃimo] ↔ [ʃimo (霜)]

諸本は「莫」が「木」[mu]とある。

10. 雪 由急 [ieuki] ↔ [iuki (雪)]

11. 大風 倭亦刊節 [uoikhantsie] ↔ [uo:ikandzie (大い風)]

12. 風吹 刊節福谷 [khantsiefuku] ↔ [kanzeΦuku (風吹く)]

13. 天晴 唵喇那法里的 [solanofaliti] ↔ [soranoΦarete (空の晴れて)]

「那」は「の」で、主格助詞である。原本は「的」が無く、諸本によって加えた。下の「天陰」から見ても、同じように「的」が有るはず。

14. 天陰 唵喇那枯木的 [solanokhumuti] ↔ [soranokumotte (空の曇って)]

15. 天熱 唵喇那阿都亦 [solanoatui] ↔ [soranoatui (空の熱い)]

第五音節の子音は「ts」ではなく、「t」である。

16. 天冷 唵喇那三木世 [solanosanpuʃi] ↔ [soranosambuʃi (空の寒し)]

寒し、「さぶし」と読む(伊波氏説)。濁音「b」の前に「m」の鼻音が有る。

17. 大雨 倭亦阿密 [uoiami] ↔ [uo:iame (大い雨)]

18. 小雨 祭塞阿密 [tsisaiami] ↔ [tʃisaiame (小さい雨)]

19. 落雨 阿密福禄 [amifulu] ↔ [ameΦuru (雨降る)]

20. 有雨 阿密阿祿 [amiaru] ↔ [amearu (雨有る)]
 21. 無雨 阿密乃世 [aminaiʃi] ↔ [amenaʃi (雨無(?))]

第 367 條「無乃」から見ると、本條の「世」及び以下 23 條「無風」、29 條「無星」の中の「世」は皆な後で加えたものだと考えられる。『日本館訳語』における「な」の音節は殆ど「納」[na] に対音され、例外は「乃」三回と「那」一回に過ぎない。

22. 有風 刊節阿祿 [khantsiealu] ↔ [kandziearu (風有る)]
 23. 無風 刊節乃世 [khantsienaiʃi] ↔ [kandzienaʃi (風無(?))]
 24. 落雪 由急福祿 [ieukifuru] ↔ [iukiɸuru] (雪降る)]
 25. 雪大 倭亦由急 [uoieuki] ↔ [uo:iuki (大い雪)]
 26. 雪小 由急祭塞 [ieukitsisai] ↔ [iukistʃisai (雪小さい)]

稲葉本は「由」を「田」(誤字)とある。

27. 風來 刊節急答里 [khantsiekitali] ↔ [kandziekitari (風來たり)]
 28. 有星 波世阿祿 [poʃialu] ↔ [poʃiaru (星有る)]
 29. 無星 波世乃世 [poʃinaiʃi] ↔ [poʃinaʃi (星無し?)]
 30. 星少 波世索谷乃 [poʃisokunai] ↔ [poʃisukunai (星少ない)]
 31. 星多 波世倭亦 [poʃiuoi] ↔ [poʃiuo:i (星多い)]
 32. 天上 唵喇乃嗑密 [solanaikhami] ↔ [soranokami (空の上)]

諸本には「乃」を「那」[no] とし、「那」の方が日本語音に合う。

33. 天下 唵喇乃世莫 [solanaiʃimo] ↔ [soranoʃimo (空の下)]

諸本には「乃」を「那」とし、「那」の方は一層合う。それと、諸本には「莫」を「木」[mu] とある。

34. 天涼 唵喇乃孫司世 [solanaisunsiʃi] ↔ [soranosunzuʃii (空の涼しい)]

諸本には「乃」を「那」と有り、「那」の対音は合う。第五音節濁子音「z」の前に鼻音「n」が有る。原本に「世」が無く、諸本によって加えた。第 120 條も「涼 孫司世」である。

35. 黄雲 急密撒那枯木 [kimisanokhumu] ↔ [kimisanokumo (黄み

さの雲)]

36. 白雲 世禄亦那枯木 [ʃiluinokhumu] ↔ [ʃiroinokumo (白いの雲)]

37. 黒雲 谷禄亦那枯木 [kuluinokhumu] ↔ [kuroinokumo (黒いの雲)]

38. 雪厚 由急阿多亦 [ieukiatoi] ↔ [iukiatui (雪厚い)]

諸本に「多」を「都」[tu]と有り、「都」の方が合う対音。「多・都」両方とも閉鎖音子音、破裂音「ts」ではない。

39. 雪薄 由急吾唆亦 [ieukiusoi] ↔ [iukiusui (雪薄い)]

40. 日長 非禄納蓋世 [filunakaiʃi] ↔ [ʃirunagaʃi (昼長?)]

331 條「阿蓋」[uakai (若い)]、557 條「納蓋」[nakai (長い)] から見ると、「世」は後に書き入れた可能性が考えられる。

41. 日短 非禄密世加世 [filumiʃikiaʃi] ↔ [firumidzikaʃi (昼短し)]

42. 好月亮 讀急約唆羅 [tukiiisolo] ↔ [tukiiisoro (月夜候)]

「月亮」は月で、「好」は良い。

二 地理門

43. 地 只 [tʃi] ↔ [tʃi (地)]

44. 山 牙馬 [iama] ↔ [iama (山)]

45. 水 民足 [mintsu] ↔ [mindzu (水)]

第二音節濁子音「dz」の前に「n」という鼻音が有る。

46. 土 足只 [tsutʃi] ↔ [tsutʃi (地、土)]

47. 河 嗑哇 [khaua] ↔ [kaua (川・河)]

48. 海 吾密 [umi] ↔ [umi (海)]

49. 石 亦世 [iʃi] ↔ [iʃi (石)]

50. 磚 嗑哇喇 [khauala] ↔ [kauara (瓦)]

中国語で「磚」は煉瓦の事で、その形は日本の煉瓦に近い。原本と諸本は「喇」という字が無く、渡辺先生説によって加えた。

51. 灰 活各立 [xuokoli] ↔ [xokori (埃)]

第一音節子音は「Φ」ではない。

52. 墻 嗑別 [khapie] ↔ [kabe (壁)]

53. 路 密祭 [mitsi] ↔ [mitʃi (道)]

54. 城 遶 [ʒau] ↔ [ʒiau (城)]

『琉球館訳語』も「城遶」である。対音字から見ると、母音は「o:」ではなく、「au」である。

55. 瓦 嗑哇喇 [khauala] ↔ [kauara (瓦)]

56. 泥 各聶禄 [konielu] ↔ [koneru (捏ねる)]

中国語で「泥」は名詞（どろ）と動詞（泥で塗る、泥にする）二つ意味を持ち、ここは動詞である。

57. 井 亦嗑哇 [ikhaua] ↔ [igaua (井側)]

58. 村 木喇 [mula] ↔ [mura (村)]

稲葉本では「木」は「水」（誤字）である。

59. 國 谷泥 [kuni] ↔ [kuni (国)]

諸本の「泥」は「尼」[ni] とある。

60. 岸 倭嗑 [uokha] ↔ [uoka (岡)]

「倭嗑」は「おか」で、陸地の意味。

61. 橋 法世 [faʃi] ↔ [ʔaʃi (橋)]

62. 湖 民足吾密 [mintzuumi] ↔ [mindzuumi (湖)]

第二音節濁子音「dz」の前に鼻音「n」が有る。

63. 石橋 亦世法世 [iʃifaʃi] ↔ [iʃiʔaʃi (石橋)]

64. 板橋 亦答法世 [itafaʃi] ↔ [itaʔaʃi (板橋)]

65. 河寬 嗑哇納蓋世 [khauanakaiʃi] ↔ [kauanagaʃi (川長し?)]

第557條「寬 納蓋」から見ると、「世」は後で増入した事が考えられる。

中国語で「寬」は「広い」意味、対音「長い」にずれが有る。

66. 河窄 嗑哇斜巴世 [khauasiepaʃi] ↔ [kauaʃibaʃi (川狭し)]

原本は「世」に「法」と誤り、諸本によって訂正。

67. 地方 谷泥 [kuni] ↔ [kuni (国)]

諸本では「泥」は「尼」[ni] である。

68. 挑水 民足莫都 [mintsumotu] ↔ [mindzumotu (水持つ)]

挑水、水を担う。諸本は「莫」が「木」[mu]とする。最後の音節は「tsu」ではなく、「tu」である。

69. 到岸 足急毛世 [tsukimaoʃi] ↔ [tsukimauʃi (着き申し)]

70. 山高 牙馬那答蓋撒 [iamanotakaisa] ↔ [iamanotakasa (山の高さ?)]

71 條の「阿都亦」から見ると「答蓋」は「高い」、「撒」は後で加えた事を考えられる。

71. 地厚 只那阿都亦 [tʃinoatui] ↔ [tʃinoatui (地の厚い)]

諸本の「亦」は「撒」[sa]と有る。

72. 水深 民足福加撒 [mintsufukiasa] ↔ [mindzuʃukasa (水深さ)]

73. 水浅 民足阿撒撒 [mintsuasasa] ↔ [mindzuasasa (水浅さ)]

74. 青山 谷禄亦那牙馬 [kuluinoiama] ↔ [kurouinoiama (黒いの山)]

中国語の「青」は「黒い」意味を持つ。

75. 山頭 牙馬那蓋世喇 [iamanokhaʃila] ↔ [iamanokaʃira (山の頭)]

「山頭」は山頂の意味。

76. 山脚 牙馬那阿世 [iamanoaʃi] ↔ [iamanoaʃi (山の足)]

77. 山口 牙馬那谷只 [iamanokutʃi] ↔ [iamanokutʃi (山の口)]

中国語「山口」の意味は「山の入口」。

78. 路遠 密祭那它撒 [mitsinothosa] ↔ [mitʃinoto:sa (道の遠さ)]

79. 路近 密祭那齊加撒 [mitsinotshikiasa] ↔ [mitʃinotʃikasa (道の近さ)]

80. 路口 密祭那谷只 [mitsinokutʃi] ↔ [mitʃinokutʃi (道の口)]

中国語「路口」の意味は「辻の入口、道のまがり角」。

81. 大路 倭吾亦那密祭 [uouinomitsi] ↔ [uoiinomitʃi (大いの道)]

諸本に「吾」が無い。『日本館訳語』の「大い」は八つ有り(第11・17・25・81・233・327・510・559 條)、中には「倭亦」という対音が五回、「倭吾亦」という対音が三回(81・233・599)。諸本は八回全部「倭亦」で対音して、

統一された事が推測出来る。「倭亦」[uo:i]と「倭吾亦」[uoui]の対立対音は、当時の日本語の「uou」は「uo:」に変化して行くことを物語る。

82. 小路 祭塞那密祭 [tsisainomitsi] ↔ [tsisainomitsi (小さいの道)]

83. 山上 牙馬那嗑密 [iamanokhami] ↔ [iamanokami (山の上)]

84. 山下 牙馬那世莫 [iamanojimo] ↔ [iamanojimo (山の下)]

諸本は「莫」を「木」[mu]と有る。

85. 新橋 阿答喇世那法世 [atalaʃinofaʃi] ↔ [ataraʃiinoΦaʃi (新しいの橋)]

86. 舊橋 非撒世那法世 [fisaʃinofaʃi] ↔ [ΦisaʃiinoΦaʃi (久しいの橋)]

中国語の「舊」は「古い」の意味。

三 时会門

87. 春 法禄 [falu] ↔ [Φaru (春)]

88. 夏 納都 [natu] ↔ [natu (夏)]

第二音節の子音は「t」で、「ts」ではない。『琉球館訳語』も「夏 那都」である。

89. 秋 阿急 [aki] ↔ [aki (秋)]

90. 冬 福由 [fuiieu] ↔ [Φuiiu (冬)]

91. 年 都世 [tuʃi] ↔ [toʃi (年)]

92. 月 讀急 第3條と同じ。

93. 日 非禄 第2條と同じ。

94. 時 讀急 [tuki] ↔ [toki (時)]

95. 今年 各都世 [kotuʃi] ↔ [kotoʃi (今年)]

96. 明年 苗年 [miaunien] ↔ [miaonen (明年)]

対音字から見ると、第一音節の母音は「iə:」ではない。

97. 今日 交哇 [kiauuu] ↔ [kiouuu (今日は)]

「哇」の対音は係助詞「は」である。

98. 昨日 急牛 [kinieu] ↔ [kiniou (昨日)]

第二音節の母音は「o:」ではなく、「ou」である。

99. 正月 燒哇的 [sauuati] ↔ [siaunguat (正月)]

「哇」、ゼロ子音、対音の「g」よりおそらく弱い「ŋ」に近い。第114條の「五」は「鷺」[ŋo] に対音された様に、「日本館訳語」にガ行假名の弱化（鼻音化）はもう存在している。日葡辞書（791）「正月」の末音節「つ」を「t」で表記し、母音が消えた。

100. 二月 寧哇的 [niguati] ↔ [ninguat (二月)]

第二音節子音 [ŋ-] の前に鼻音 [-ŋ] が附いている。以下の三條も同じである。

101. 三月 散哇的 [sanuati] ↔ [sanguat (三月)]

102. 四月 升哇的 [šiguati] ↔ [šinguat (四月)]

103. 五月 翁哇的 [uŋuati] ↔ [ŋonguat (五月)]

第一音節ゼロ子音と「ŋ」の対音現象は99條に似ている。

104. 六月 禄谷哇的 [lukuuati] ↔ [rokuŋuat (六月)]

105. 七月 世只哇的 [šitšiuati] ↔ [šitšinguat (七月)]

原本には「的」が無く、諸本のように加える。

106. 八月 法只哇的 [fatšiuati] ↔ [Φatšinguat (八月)]

静嘉堂本には「哇的」が無い。

107. 九月 谷哇的 [kuuati] ↔ [kuŋnat (九月)]

108. 十月 柔哇的 [zeuuati] ↔ [ziuŋuat (十月)]

109. 十一月 世木讀急 [šimutuki] ↔ [šimotuki (霜月)]

110. 十二月 世哇司 [šiuasi] ↔ [šiuasu (師走)]

111. 幾年 南念 [nannien] ↔ [nannen (何年)]

112. 幾日 亦谷嗑納非 [ikukhanafi] ↔ [ikukanoΦi (幾日の日)]

113. 一日 都亦答只 [tuitatšji] ↔ [tuitatšji (朔)]

第一音節子音は「ts」ではない。

114. 十五日 柔鷺尼只非 [zeuŋonitšjifi] ↔ [ziuŋonitšjiΦi (十五日日)]

鷺、疑母字、子音は「ŋ」である。阿波国本は「只」を「口」（誤字）と有

る。

115. 古 非撒世 [fisaʃi] ↔ [Φisaʃi (久し)]

116. 今 亦馬哇 [imaua] ↔ [imaua (今は)]

は、係助詞。

117. 昼 非禄馬 [filuma] ↔ [Φiruma (昼間)]

118. 夜 約禄 [iolu] ↔ [ioru (夜)]

靜嘉堂本は「約」を「納」(誤字)とする。

119. 暖 阿答答嗑納 [atatakhana] ↔ [atatakana (暖かな)]

120. 涼 孫司世 [sunsʃi] ↔ [sunzuʃii (涼しい)]

121. 熟 阿都亦 [atui] ↔ [atui (熱い)]

122. 早 貼答 [thieta] ↔ [deta (出た)]

123 條によると、対音の意味は「(日) 出た」。

123. 晩 非那谷禄答 [finokuluta] ↔ [Φinokureta (日の暮れた)]

諸本には「禄」が「里」[li]と有る。「里」は語音に近い。「禄」は「re」を対音するのは他に第372「生 吾馬禄貼」が有る。

124. 冷 三不世 [sanpuʃi] ↔ [sambuʃi (寒し)]

四 花木門

125. 梅 吾乜 [umie] ↔ [ume (梅)]

126. 桃 莫莫 [momo] ↔ [momo (桃)]

諸本には「莫莫」が「木木」[mumu]と有る。

127. 梨 阿立那乜 [alinomie] ↔ [arinomi (有りの実)]

阿波国本、稻葉本には「梨」が「李」、誤字である。

128. 棗 納都密 [natumi] ↔ [natume (棗)]

第二音節子音は「ts」ではない。

129. 栗 谷里 [kuli] ↔ [kuri (栗)]

130. 竹 答傑 [takie] ↔ [take (竹)]

131. 杏 吾乜 [umie] ↔ [ume (梅)]

132. 麥 木急 [muki] ↔ [mugi (麦)]

133. 豆 馬セ [mamie] ↔ [mame (豆)]

134. 草 谷騒 [kusau] ↔ [kusa (草)]

「騒」の「u」の部分は「草」を読み終った所の収尾音だと考えられる。

135. 菜 塞 [sai] ↔ [sai (菜)]

136. 柴 急 [ki] ↔ [ki (木)]

ここの柴は「薪」の意味。

137. 韭 尼喇 [nila] ↔ [nira (韭)]

138. 蒜 非禄 [filu] ↔ [Φiru (蒜)]

139. 葱 非都莫世 [fitumoſi] ↔ [Φitomozi (一文字)]

諸本には「莫」が「木」(mu)と有る。

140. 瓜 吾里 [uli] ↔ [uri (瓜)]

141. 茄 納宿密 [nasumi] ↔ [nasubi (茄子)]

第三音節の「m」と「b」にズレが有る。

142. 米 各也 [komie] ↔ [kome (米)]

静嘉堂本はこの條を欠ける。

143. 樹 急 [ki] ↔ [ki (木)]

144. 枝 空不世 [khujbuſi] ↔ [kombuſi (小節)]

広辞苑「①小節、小さいふし。②小節材の略。」

145. 花 法納 [fana] ↔ [Φana (花)]

146. 葉 急那法 [kinofa] ↔ [kinoΦa (木の葉)]

静嘉堂本は「法」を「葉」に誤る。

147. 李子 吾也 [umie] ↔ [ume (梅)]

李子、すももの実、梅のように酸味を帯びる。

148. 核桃 谷禄密 [kulumi] ↔ [kurumi (胡桃)]

149. 竹筍 答傑那各 [takienoko] ↔ [takenoko (竹の子)]

阿波国本、静嘉堂本は「各」を「谷」[ku]と有る。

150. 木耳 急那密密 [kinomimi] ↔ [kinomimi (木の耳)]

151. 海菜 各不 [kopu] ↔ [kobu (昆布)]
152. 白菜 世禄納 [siluna] ↔ [sirona (白菜)]
153. 蘿蔔 大根 [taiken] ↔ [daikon (大根)]

西儒耳目資に「大」は「ta, to, tai」三つの発音があり、「ta」を読むのは最も普通である。「大根」と書くのは日本の書き方をそのまま取り入れた可能性が排除できない。

154. 葫蘆 漂淡 [phiautan] ↔ [pioutan (瓢箪)]

第一音節の子音は [Φ] ではない。

155. 菓子 木那哇 [munoua] ↔ [monoua (物は)]

第 385 條「方物 木那哇」は同様に対音している。方物は各地方の土産で、各地（各国）の茗菓を必ず朝廷に進呈するのは中国旧（舊）時代の慣例である。従って、この條目は「菓実類の貢品（方物）」と理解すればよい。『琉球館訳語』も『方物 木那哇』があり、なぜ「物は」と読むのはまだ研究が必要。

156. 石榴 世牙谷禄 [jiakulu] ↔ [ziakuro (石榴)].

157. 柿子 各急 [kaki] ↔ [kaki (柿)]

靜嘉堂本は「各」を「谷」[ku] と有る。

158. 柑子 稿日 [kauzi] ↔ [kauzi (柑子・橙)]

第一音節の母音は「o:」ではない。

159. 葡萄 不道 [putau] ↔ [budau (葡萄)]

第二音節の母音は「o:」ではない。

160. 楊梅 牙馬木那 [iamamuno] ↔ [iamamomo (楊梅)]

末音節の子音に m と n のズレがある。稲葉本は「木」を「本」[pen] に誤る。

161. 松子 馬足那各 [matsunoko] ↔ [matsunoko (松の子)]

靜嘉堂本は「各」を「谷」と有る。松子、松の実。

162. 大麥 倭木急 [uomuki] ↔ [uo:mugi (大麥)]

163. 小麥 各木急 [komuki] ↔ [komugi (小麥)]

原本に「木」は「不」と有る。諸本によって訂正。

164. 芝麻 倭馬 [uoma] ↔ [goma (胡麻)]

165. 小米 阿哇各也 [auakomie] ↔ [auakome (粟米)]

外皮を取った粟は中国で「小米」と言う。

166. 椿樹 法祿那急 [falunoki] ↔ [Φarunoki (春の木)]

中国で「椿」というのは、「つばき」ではなく、チャンチン（香椿）のことである。春の若芽は人人に愛され、「春の木」と言うのは可笑しくない。

167. 槐樹 非也那急 [fimienoki] ↔ [Φimenoki (姫の木)]

槐、えんじゅである。「姫の木」は「姫椿」の略かもしれない。

168. 柳樹 牙南急那急 [ianankinoki] ↔ [iananjinoki (柳の木)]

第三音節gの前に鼻音「ŋ」が有る。

169. 榆樹 亦倭那急 [iuonoki] ↔ [iunoki (榆の木)]

榆の訓読は「にれ」、ここは音読。

170. 松樹 馬足那急 [matsunoki] ↔ [matsunoki (松の木)]

171. 蓮花 法司也那法納 [fasimienofana] ↔ [ΦasuminoΦana (蓮実の花)]

172. 蓮子 法司也那各 [fasimienoko] ↔ [Φasuminoko (蓮実の子)]

静嘉堂本は「各」を「谷」[ku]と有る。

173. 紅花 阿蓋撒那法納 [akaisanofana] ↔ [akasanoΦana (赤さ？の花)]

第14條の様、「阿蓋」は[akai]、「撒」は後に書き入れた可能性が考えられる。

174. 白花 世祿亦那法納 [siluinofana] ↔ [široinoΦana (白いの花)]

175. 山藥 牙馬那亦莫 [iamanoimo] ↔ [iamanoimo (山の芋)]

山藥、中国北方の言い方、「やまいも」の意味。諸本は「莫」を「木」[mu]とする。

176. 砍柴 乞急里尼 [khikilini] ↔ [kikirini (木切りに)]

砍柴、「薪切る」の意味。解説は渡辺先生説に従う。原本は「急」を「望」と有り、諸本によって訂正。ロンドン本と諸本は全て「尼里」（稲葉本は「尼」

を「厄」に誤る)であった。

五 鳥獸門

177. 龍 答都 [tata] ↔ [tatu (竜)]

第二音節子音は [ts] ではない。

178. 虎 它喇 [thola] ↔ [tora (虎)]

179. 牛 吾世 [uʃi] ↔ [uji (牛)]

180. 羊 非都世 [fituʃi] ↔ [Φituʃi (羊)]

第二音節子音は [ts] ではない。

181. 犬 亦那 [ino] ↔ [inu (犬)]

182. 馬 吾馬 [uma] ↔ [uma (馬)]

183. 家 糟 [tsau] ↔ [dzau (象)]

母音は「o:」ではない。

184. 熊 枯馬 [khuma] ↔ [kuma (熊)]

185. 騾 羅巴 [lopa] ↔ [roba (驢馬)]

186. 猪 亦 [i] ↔ [i (猪)]

「い」と読むのは一般的に語素として使う。

187. 驢 羊急吾馬 [iaŋkiuma] ↔ [iaŋgiuma (山羊馬)]

読みは「やぎ」と「うま」の集め合わせ、驢(ロバ)の発音表記ではない。

188. 猫 聶各 [nieko] ↔ [neko (猫)]

189. 鷄 它立 [tholi] ↔ [tori (鳥)]

190. 鶯 幹 [kan] ↔ [gan (雁)]

鶯、鶯鳥、雁の飼養し変種した家畜。

191. 鶯 答各 [tako] ↔ [taka (鷹)]

鶯(うぐいす)と鷹間違い。

192. 兔 吾撒急 [usaki] ↔ [usagi (兔)]

193. 雀 孫司乜 [sunsimie] ↔ [sunzume (雀)]

第二音節濁子音の前に鼻音「n」が有る。

194. 魚 亦倭 [iuo] ↔ [iuo (魚)]
195. 雁 幹 [kan] ↔ [gan (雁)]
196. 虱 世喇密 [ʃilami] ↔ [ʃirami (虱)]
197. 猴 撒禄 [salu] ↔ [saru (猿)]
198. 蛇 密 [mi] ↔ [mi (巳)]

巳、へみ(蛇)の略称。

199. 鼠 聶 [nie] ↔ [ne (子)]
200. 鹿 加那世世 [kianoʃiʃi] ↔ [kanoʃiʃi (鹿)]
201. 鳳凰 夫倭 [fuuo] ↔ [Φo:uo: (鳳凰)]
202. 孔雀 公少 [kuŋʃau] ↔ [kuŋziaku (孔雀)]

第二音節「ʃ」の前に鼻音が有る。対音に第三音節子音kを脱落した。

203. 喜鵲 各喇司 [kolasi] ↔ [karasu (鳥)]

喜鵲、カササギ、鳴くとめでたいことが有るとされ、「喜ぶ」の字を前に付ける。

204. 仙鶴 司録 [sɪlu] ↔ [tsuru (鶴)]

「s」と「ts」にズレが有る。

205. 鶻鶻 法都 [fatu] ↔ [Φato (鶻)]
206. 天鶻 公貴 [kuŋkui] ↔ [kuŋgui (鶻)]

第2音節濁子音の前に鼻音が有る。

207. 獅子 世世 [ʃiʃi] ↔ [ʃiʃi (獅子)]
208. 鶻鶻 文都喇 [uentula] ↔ [undura (鶻)]

第二音節の濁子音は「dz」ではなく、その前に鼻音が有る。

209. 螃蟹 各尼 [koni] ↔ [kani (蟹)]
210. 鴛鴦 言約 [ienio] ↔ [ieniau/io: (鴛鴦)]

鴛は吳音で「オウ(アウ)」と、漢音で「ヨウ(ヤウ)」と読む。

日葡辞書は「uǒ」[uau]と音記された。対音字「約」の中国語発音からみると、漢音の可能性が強い。明代の「約」も両種の発音が有り、「[iau]」は白話音、「[io]」は読書音。「日本館訳語」に殆どの「約」は「[io]」と対音、ここ

は [io] の方が有力。

211. 野鷄 斤只那它立 [kintçinotholi] ↔ [kindžinotori (雉の鳥)]

第二音節濁子音の前に鼻音が有る。

212. 烏鴉 牙馬各喇司 [iamakolası] ↔ [iamakarasu (山鳥)]

213. 水鴨 民足嗑木 [mintsukhamu] ↔ [mindzukamo (水鴨)]

214. 黄鶯 急密撒答各 [kimisatako] ↔ [kimisataka (黄みさ鷹)]

215. 黒鷹 谷禄亦答各 [kuluiitako] ↔ [kuroitako (黒い鷹)]

216. 羊羔 非都世那各 [fituŷinoko] ↔ [Φituzinoko (羊の子)]

第二音節の子音は「ts」ではない。阿波国本は「世那」を「那世」と有る。

217. 牛角 吾世那祖那 [uŷinotsuno] ↔ [uŷinotsuno (牛の角)]

218. 鹿皮 世世那嗑哇 [ŷiŷinokhaua] ↔ [ŷiŷinokaua (鹿の皮)]

219. 黄牛 急密撒那吾世 [kimisanouŷi] ↔ [kimisanouŷi (黄みさの牛)]

220. 水牛 民足那吾世 [mintsunouŷi] ↔ [mintsunouŷi (水の牛)]

221. 海青 吾密那答各 [uminotako] ↔ [uminotaka (海の鷹)]

海青、鷹の別名。

六 宮室門

222. 亦葉 [iie] ↔ [iie (家)]

223. 門 捫那 [muenno] ↔ [muno (門の)]

那、「の」(属格助詞)の対音。この文例は「琉球館訳語」にも有る。例えば「山 亞馬奴」、奴 [nu] も「の」である。

224. 窗 牙暗都 [iaantu] ↔ [iando (屋戸)]

広辞苑に参照。第二音節子音dの前に鼻音が有る。

225. 寺 貼喇 [thiela] ↔ [tera (寺)]

226. 楼 尼蓋 [nikai] ↔ [nikai (二階)]

227. 廟 密牙 [miia] ↔ [miia (宮)]

中国で「廟」は寺や社を指す。社は日本の神宮、神社に近い。

228. 塔 答 [ta] ↔ [tau (塔)]

末尾の「u」の音記はない。

229. 屋脊 谷世 [kuʃi] ↔ [koʃi (層)]

屋脊、屋根のむね、建物の階層とやや違う。

230. 屋柱 法世喇 [faʃila] ↔ [ʃaʃira (柱)]

231. 館驛 葉急尼 [iekini] ↔ [iekini (駅に)]

232. 看守 貼喇那密吾 [thielanomiu] ↔ [teranomiu (寺の見う)]

233. 大門 倭吾亦捫那 [uouimuenno] ↔ [uouimonno (大い門の)]

諸本に「吾」が無い。

234. 小門 祭塞捫那 [tsisaimuenno] ↔ [tʃisaiimonno (小さい門の)]

235. 墻高 嗑別那答蓋撒 [khapienotakaisa] ↔ [kabenotakasa (壁の高さ)]

「撒」は後に加えたかもしれない。

七 器用門

236. 紙 嗑密 [khami] ↔ [kami (紙)]

237. 墨 司密 [sɪmi] ↔ [sumi (墨)]

238. 筆 分貼 [fuenthie] ↔ [ʃunde (筆)]

dの前に鼻音nが有る。

239. 硯 司司立 [sɪsɪli] ↔ [suzuri (硯)]

240. 盔 幹不立 [kanpuli] ↔ [kamburi (冠)]

bの前に鼻音mが有る。

241. 甲 約羅衣 [ioloi] ↔ [ioroi (鎧)]

242. 戟 牙立 [iali] ↔ [iari (槍・鏑)]

243. 刀 答只 [tatʃi] ↔ [tatʃi (太刀)]

244. 弓 由密 [ieumi] ↔ [iumi (弓)]

245. 箭 牙 [ia] ↔ [ia (矢)]

246. 扇 阿翁急 [aʊŋki] ↔ [aʊŋgi (扇)]

gの前に鼻音ŋが有る。日葡辞書(704)に最初の音節は「v」が有り、対音

字から見ると、消失した様である。

247. 箒 木世禄 [muʃilu] ↔ [muʃiro (筵)]
 248. 椀 札萬 [tʃauan] ↔ [tʃiauan (茶碗)]
 249. 椽 撒喇 [sala] ↔ [sara (皿)]
 250. 匙 札谷世 [tʃakuʃi] ↔ [ʃiakuʃi (杓子)]
 251. 筋 法世 [faʃi] ↔ [Φaʃi (箸)]
 252. 卓 少谷 [ʃauku] ↔ [ʃioku (卓)]
 253. 椅 交谷禄谷 [kiaukuluku] ↔ [kiokuroku (曲禄)]
 254. 鍾 撒幹都急 [sakantuki] ↔ [sakanduki (盃)]

鍾、酒杯。第三音節子音は [dz] ではなく、その前に鼻音が有る。

255. 盤 倭世急 [uoʃiki] ↔ [uoʃiki (折敷)]

原本の対音字は間違っ、上條のように「撒幹都急」とした。諸本によつて訂正。

256. 香 稿巴世 [kaupaʃi] ↔ [kaubaʃi (香ばし)]

第一音節の母音は「au」である。

257. 車 谷禄馬 [kuluma] ↔ [kuruma (車)]
 258. 船 副聶 [funie] ↔ [Φune (船)]
 259. 桅 法世喇 [faʃila] ↔ [Φaʃira (柱)]
 260. 篷 賀 [xo] ↔ [xo (帆)]

子音は既に「Φ」から「x」に変わった。

261. 羅 [lo] ↔ [ro (櫓)]
 262. 鎖 枯撒里 [khusali] ↔ [kusari (鎖)]
 263. 鑰 康急 [khaŋki] ↔ [kangi (鍵)]

gの前に「ŋ」の鼻音が有る。

264. 鍋 納別 [napie] ↔ [nabe (鍋)]
 265. 鞍 谷喇 [kula] ↔ [kura (鞍)]
 266. 鐙 阿不密 [apumi] ↔ [abumi (鐙)]
 267. 鞞 世立蓋 [ʃilikai] ↔ [ʃirigai (鞞)]

268. 轡 谷都 [kutu] ↔ [kutuuu (轡・衝)]

第二音節の子音は「ts」ではない。第三音節uaは音記されなかった。

269. 鞭 不的 [puti] ↔ [buti (鞭)]

第二音節子音は「ts」ではない。

270. 鏡 嗑阿密 [khaami] ↔ [kaŋami (鏡)]

対音字から見ると、第二音節の「g」は「ŋ」になる。

271. 帳 嗑照 [khatʃau] ↔ [katʃiau (蚊帳)]

第二音節の母音は「io:」ではない。

272. 帶 文必 [uenpi] ↔ [uombi (帶)]

第二音節のbの前に鼻音mが有る。

273. 梳 谷世 [kuʃi] ↔ [kuʃi (櫛)]

274. 鼓 大各 [taiko] ↔ [taiko (太鼓)]

靜嘉堂本は「各」を「谷 [ku] とする。

275. 秤 法各立 [fakoli] ↔ [ʃakari (秤)]

靜嘉堂本は「各立」を「谷里」[kuli] と有る。

276. 尺 札谷 [tʃaku] ↔ [ʃiaku (尺)]

277. 斗 島 [tau] ↔ [to (斗)]

278. 火 非 [fi] ↔ [ʃi (火)]

279. 燈 都 [tu] ↔ [tou (燈)]

現代中国語の「都」は「tou」という発音も有る。

280. 香盒 稿巴各 [kaupako] ↔ [kaubako (香合)]

第一音節母音は「o:」ではない。

281. 屏風 漂不 [phiaupu] ↔ [bioubu (屏風)]

282. 胡椒 谷燒 [kutʃau] ↔ [koʃiou (胡椒)]

283. 硯匣 司司立法各 [sɪsɪlifako] ↔ [suzuriʃako (硯箱)]

284. 蘇木 司哇 [sɪua] ↔ [suuau (蘇芳)]

285. 扇面 阿翁急嗑倭 [aʊŋkikhau] ↔ [aʊŋgikauo (扇顔)]

「扇面」の面は表面の意味。ここは「顔」の面(つら)にした。

286. 銅銚 非桑急 [fisanki] ↔ [Φisange (提子)]

第三音節濁子音「g」の前に「ŋ」鼻音が有る。銚、金属製；室町時代の「提子」は木製。

287. 象牙 糟那傑 [tsaunokie] ↔ [dzaunoge (象の牙)]

稲葉本には「糟」に「槽」[tshau] とある。

288. 小扇 吾只哇 [utʃiua] ↔ [utʃiua (団扇)]

289. 天平 殿漂 [tienphiau] ↔ [tembiau (天平)]

日葡辞書 (644) 「天秤tenbin」、日本大文典 (835) 「天平tembiò」。中国語の「天平」は即ち日本語の「天秤」である。対音から見ると、記音当時、「天平」という字を見て、聖武天皇年号の読みにしたと推測できる。大友先生説に従う。

290. 剪刀 法撒密 [fasami] ↔ [Φasami (鋏)]

291. 麝香 世牙稿 [ʃiakau] ↔ [ziakau (麝香)]

292. 乳香 由高 [ienkau] ↔ [niukau (乳香)]

原本と諸本は皆な「由商」であった。「商」は [ʃaŋ] と読み、「香」[kau] の発音と合わない。他の「香」は全部「稿」に対音され、もし誤字だとすれば、「商」と字形近く、字音が同じの「高」は妥当で、伊波先生説に従う。niuに対して、対音字は子音を脱落した。

293. 阿味 牙非

不明。蔣垂東氏 (『「日本館訳語」の基礎音系』 『国語学』184集 1996. 3) は「味」が「魏」の同音假借字と主張し、有力だが、「日本館訳語」には「牙非」は例外なく [iafi] と対音、阿魏 [agi] の発音に合わない。阿波国本に「味」を「密」とする。

294. 扇骨 阿翁急福聶 [aunkifunie] ↔ [aungiΦone (扇骨)]

295. 新筆 阿答喇世分貼 [atalaʃifuenthie] ↔ [ataraʃiΦunde (新しい筆)]

296. 船来 福聶那急答里 [funienokitali] ↔ [Φunenokitari (船の来たり)]

297. 佛象 福都傑 [futukie] ↔ [Φotoke (仏)]
298. 筆管 分貼只谷 [fuenthietjiku] ↔ [Φudeziku (筆軸)]
299. 船去 福聶那亦急 [funienoiki] ↔ [Φunenoiki (船の行き)]
300. 沈香 定稿 [tiŋkau] ↔ [tiŋgau (沈香)]

第一音節子音は「d₃」ではない。

301. 神仙筆 各波世 [kopoŋi] ↔ [ko:buŋi (香附子)]

伊波先生説に従う。

302. 片腦 兵卞 [piŋpien] ↔ [pinpen (冰片)]

片腦は冰片、冰片腦とも言う。日本語に「冰片」は「ひょうへん」と読み(漢和大字典)。両音節子音ともに「p」(Φではない)、その上、第二音節子音は濁音ではないので、前に鼻音の有るのは日本語表音方式ではない。いずれも中国語の「冰片」の発音 [piŋphien] に似ている。

303. 白檀香 別谷旦稿 [piekutankau] ↔ [biakudankau (白檀香)]

諸本は「谷」に「各」[ko] 有る。

八 人物門

304. 父 貼貼 [thiethie] ↔ [tete (父)]
305. 母 法法 [fafa] ↔ [ΦaΦa (母)]
306. 兄 阿尼 [ani] ↔ [ani (兄)]
307. 弟 吾都都 [ututu] ↔ [uototo (弟)]
308. 妻 弱波 [zopo] ↔ [nio:bo: (女房)]

ɹとn (或いはŋ) にずれが有る。中国語諸南方方言区(呉、湘、贛、客方言など)に「弱」を[nio (入声も有る)]を読む所が有る。

309. 子 木司各 [musiko] ↔ [musuko (息子)]

原本には「木」を「本」に誤り、諸本によって訂正。阿波国本は「各」に「谷」と有る。

310. 女 木司也 [musimie] ↔ [musume (娘)]

原本には「木」を「本」に誤り、諸本によって訂正。

311. 人 非都 [fitu] ↔ [Φito (人)]
312. 你 吾那世哇 [unoʃiua] ↔ [uonuʃiua (お主は)]
語尾の「は」は係助詞。
313. 我 倭立各 [uoliko] ↔ [uorega (己が)]
語尾の「が」は主格助辞、自謙の語気が有る。
314. 孫 忙各 [maŋko] ↔ [mango (孫)]
gの前にŋ鼻音が有る。
315. 秀才 哇嗑受 [uakhaʃeu] ↔ [uakaʃiu (若衆)]
「秀才」は書生の尊称で、若衆は若者たちである。阿波国本、稻葉本は「哇」に「嗑」と有る。
316. 婦人 倭南各 [uonanko] ↔ [uonango (女)]
gの前に鼻音が有る。
317. 客人 馬羅多世 [malotoʃi] ↔ [maro:toʃiu (客衆)]
第2音節母音「au」ではない。「衆」の解読は大友先生説に従う。末の「u」音は脱落された。諸本は「多」に「都」と有る。
318. 官人 都那巴喇 [tunopala] ↔ [tunobara (殿原)]
319. 正使 申司 [ʃinsɪ] ↔ [ʃinsu (正使)]
日葡辞書「正使、日本からシナへ行った使節。」
320. 通事 度日 [tuʒi] ↔ [tu:ʒi (通事)]
第一音節子音は「ts」ではない。稻葉本は「度」に「及」[ki]と有り、誤字である。
321. 居座 各撒 [kosa] ↔ [goza (御座)]
322. 土官 都貫 [tukuan] ↔ [dokuan (土官)]
323. 和尚 我蘇 [usu] ↔ [uoʃiau (和尚)]
324. 外郎 賣老 [mailau] ↔ [gailau (外郎)]
外郎、官名。第一音節子音「m」と「g」にずれが有る。
325. 皂隸 世木別 [ʃimupie] ↔ [ʃimobe (下部)]
326. 師傅 世農波 [ʃinugpo] ↔ [ʃinombo: (師の坊)]

第三音節濁子音bの前に鼻音が有る。母音は「au」ではない。

327. 大人 倭亦非多 [uoifito] ↔ [uo:iΦito (大い人)]

諸本は「多」に「都」と有る。

328. 弟子 的世 [tiʃi] ↔ [deʃi (弟子)]

329. 頭目 大妙 [taimiau] ↔ [daimiau (大名)]

第二音節の母音は「io:」ではない。

330. 老人 都世那約的 [tuʃinoioti] ↔ [toʃinoiote (年の寄って)]

原本には「那」に「的」と有り、諸本によって訂正。

331. 少人 阿蓋非多 [akaifito] ↔ [uakaiΦito (若い人)]

uaのuは脱落した。諸本は「多」に「都」と有る。

332. 丈人 受都貼貼 [ʃeututhiethie] ↔ [ʃiu:totete (舅父)]

333. 女婿 木各 [muko] ↔ [muko (婿)]

334. 朋友 都門答只 [tumuentatʃi] ↔ [tomondatʃi (友達)]

第三音節dの前に鼻音が有る。

335. 瞎子 乜谷喇 [miekula] ↔ [mekura (盲)]

336. 好人 約亦非多 [ioifito] ↔ [ioiΦito (良い人)]

337. 強盜 敢道 [kantau] ↔ [gaundau (強盗)]

第二音節dの前に鼻音が有る。

338. 悪人 哇禄亦非都 [ualuifitu] ↔ [uaruiΦito (悪い人)]

339. 貧人 非老世那非多 [filauʃinofito] ↔ [ΦirauʃinnoΦito (疲労人の人)]

第二音節は「o:」ではない。nがnnと対音する。諸本は「多」に「都」と有る。

340. 従人 吾只那非多 [utʃinofito] ↔ [utʃinoΦito (家の人)]

諸本は「多」に「都」と有る。

341. 富人 答那世那非多 [tanoʃinofito] ↔ [tanoʃinoΦito (楽しの人)]

諸本は第二の「那」が無く、「多」に「都」と有る。日葡辞書「楽しい人、富んでいて豊かな人。」

342. 木匠 急那撒亦谷 [kinosaiku] ↔ [kinosaiku (木の細工)]
343. 皮匠 嗑哇那撒亦谷 [khauanosaiiku] ↔ [kauanosaiiku (皮の細工)]
344. 銅匠 阿各嗑聶那撒亦谷 [akokhanienosaiku] ↔ [akaganenosaiku (銅の細工)]
345. 錫匠 司司那撒亦谷 [sisinosaiiku] ↔ [suzunosaiiku (錫の細工)]
靜嘉堂本には「谷」を「各」とする。
346. 銀匠 世禄嗑聶那撒亦谷 [ʃilukhanienosaiku] ↔ [ʃirokanenosaiku (銀の細工)]
347. 裁縫匠 急那木那撒亦谷 [kinomunosaiku] ↔ [kinumonosaiku (絹物細工)]
348. 小厮 哇濫別 [ualanpie] ↔ [uarambe (童)]
小厮、「小者、走り使い」の意味。稻葉本は「哇」を「嗑」に誤る。
349. 醫人 谷司世菜撒亦谷 [kusiʃinosaiiku] ↔ [kusuʃinosaiiku (薬師の細工)]
350. 鐵匠 谷禄嗑聶菜撒亦谷 [kulukhanienosaiku] ↔ [kuroganenosaiiku (鉄の細工)]
靜嘉堂本、阿波国本は「撒亦谷」の「谷」に「各」と有る。

九 人事門

351. 來 急答里 [kitali] ↔ [kitari (來たり)]
352. 去 亦急 [iki] ↔ [iki (行き)]
353. 遠 它撒 [thosa] ↔ [to:sa (遠さ)]
354. 近 齊加撒 [tshikiasa] ↔ [tʃikasa (近さ)]
355. 買 稿的 [kauti] ↔ [kaute (買うて)]
356. 賣 吾禄 [ulu] ↔ [uru (売る)]
357. 走 嗑只各喇 [khatʃikola] ↔ [katʃikara (徒歩から)]
中国語「走」の意味は「歩く」、或いは「行く」で、「徒歩から」(徒から)は「歩いて行く」ことだろうか。稻葉本は「各喇」に「谷谷喇」と有る。

358. 快走 法牙谷 [faiaku] ↔ [Φaiaku (速く)]

359. 貴 答那世 [tanoji] ↔ [tanoji (楽し)]

341 條を参照する。

360. 賤 牙司世 [iasiji] ↔ [iasuji (安し)]

中国語に値段が安いことも「賤」と言う。

361. 坐 吾里唆 [uliso] ↔ [uoriso: (居り候)]

居り、座わる；候(そう)、礼儀を表す存在動詞、さうらう(候)、そろ(候)と同じ。

362. 腫 年不立 [nienpuli] ↔ [nemburi (眠り)]

第二音節子音bの前に鼻音が有る。

363. 説 嗑答立 [khatari] ↔ [katari (語り)]

364. 見 密答 [mita] ↔ [mita (見た)]

365. 聴 急各司 [kikosı] ↔ [kikosu (聞す)]

366. 有 阿禄 [alu] ↔ [aru (有る)]

367. 無 乃 [nai] ↔ [nai (無い)]

368. 多 倭亦 [uoi] ↔ [uo:i (多い)]

369. 少 索谷乃 [sokunai] ↔ [sukunai (少ない)]

370. 閑 非馬那阿禄 [fimanoalu] ↔ [Φimanoaru (隙も有る)]

371. 忙 非馬莫乃 [fimamonai] ↔ [fimamonai (隙も無い)]

諸本は「莫」に「木」[mu]と有る。

372. 生 吾馬禄貼 [umaluthie] ↔ [umarete (生まれて)]

373. 死 申答 [ʃinta] ↔ [ʃinda (死んだ)]

374. 舞 馬約 [maio] ↔ [maio (舞よ)]

375. 唱 吾答 [uta] ↔ [utau (歌う)]

唱、動詞である。最後の「u」は脱落された。

376. 興 答毛里唆羅 [tamaulisolo] ↔ [tamauarisoro (賜はり候)]

377. 好 約亦 [ioi] ↔ [ioi (良い)]

378. 不好 哇禄亦 [ualui] ↔ [uarui (悪い)]

静嘉堂本は「亦」が無く、稻葉本は「哇」を「生」に誤る。

379. 醉了 約答 [iota] ↔ [iouta (酔うた)]

380. 富貴 答那世 [tanoʃi] ↔ [tanoʃi (楽し)]

381. 艱難 非老世 [filauʃi] ↔ [Φirauʒin (疲労)]

艱難、形容詞。「世」の対音は339條「貧人」の影響を受け、「ʒin」の前部分だと考える。

382. 戲耍 阿司必 [asɪpi] ↔ [asobi (遊び)]

383. 罵詈 亦撒各亦 [isakoi] ↔ [isakai (諍い)]

384. 進貢 嗑得那

不明。「琉球館訳語」も「進貢 嗑得那」が有る。

385. 方物 木那哇 [munoua] ↔ [monoua (物は)]

386. 法度 巴都各 [patuko] ↔ [batoga (法度が)]

第一音節子音は「Φ」ではなく、「が」は主格助詞である。

387. 利害 近必世 [kinpiʃi] ↔ [kimbiʃi (厳し)]

利害、普通は「厲害」と書き、「激しい、ひどい、きつい」の意味を持つ。

388. 洗澡 由安福祿 [ieuanfulu] ↔ [iuamburu (湯浴ぶる)]

第三音節bの前に鼻音が有る。

389. 謝恩 収世 [ʃeuʃi] ↔ [ʃiuʃi (酬し)]

390. 知道 世答 [ʃita] ↔ [ʃita (知った)]

391. 歡喜 約也祿

不明。

392. 擺著 納喇別 [nalapie] ↔ [narabe (並べ)]

擺、陳列する事である。

393. 鞠躬 各世各各木 [koʃikokomu] ↔ [koʃikagamu (腰屈む)]

鞠躬、立って腰を曲げて敬礼をする事である。稻葉本は「各木」に「谷木」と有る。

394. 拜 吾阿也 [uamie] ↔ [uogami (拝み)]

対音字によれば、「g」は「ŋ」になっているであろうか。

395. 跪 非撒南都傑 [fisanantukie] ↔ [Φidzamanduki (膝まづき)]
 第四音節子音は「dz」ではなく、その前にも鼻音が有る。明清各種琉球語寄語資料にn、m相い混る例が多数有り、「日本館訳語」の例はそれと関係有るかどうかは、まだ考証が必要。静嘉堂本は「南」に「那」と有る。
396. 叩頭 南都急都急 [nantukituki] ↔ [nandukituki (脳突き)]
 第二、四音節の子音は「dz・ts」ではなく、第二音節の前に鼻音が有る。
397. 興 吾答的唆亦 [utatisoi] ↔ [uotatisoi (御立ち候)]
 第三音節の子音は「tʃ」ではない。「御……候」、尊敬を表す。
398. 平身 各世吾那必約 [koʃiunopiio] ↔ [koʃiuonobiio: (腰を伸びよう)]
399. 賞賜 非近的木那 [fikintimuno] ↔ [Φikindemono (引出物)]
 稲葉本は「木」に「本」[puen] という誤字が有る。
400. 買賣 阿急乃 [akinai] ↔ [akinai (商い)]
401. 買甚麼 納尼稿的 [nanikauti] ↔ [nanikaute (何買うて)]
 甚麼、「何」の意味。

十 身體門

402. 頭 嗑世喇 [khaʃila] ↔ [kaʃira (頭)]
403. 面 嗑倭 [khauo] ↔ [kauo (顔)]
404. 手 貼 [thie] ↔ [te (手)]
405. 脚 阿世 [aʃi] ↔ [aʃi (足、脚)]
406. 眉 馬乚 [mamie] ↔ [mami (眉)]
 第二音節母音ieとiにずれが有る。
407. 眼 乚 [mie] ↔ [me (目、眼)]
408. 口 谷只 [kutʃi] ↔ [kutʃi (口)]
409. 鼻 法納 [fana] ↔ [Φana (鼻)]
410. 舌 世答 [ʃita] ↔ [ʃita (舌)]

原本の「答」の所に「谷」[ku] であって、諸本によって訂正。

411. 耳 密密 [mimi] ↔ [mimi (耳)]
412. 骨 福聶 [funie] ↔ [Φone (骨)]
413. 髮 嗑密 [khami] ↔ [kami (髮)]
414. 鬚 分傑 [fuenkie] ↔ [Φinge (鬚)]

第二音節子音gの前に鼻音「ŋ」が有る。

415. 腰 世木 [simu] ↔ [simo (下)]

下、体の腰部以下の事である。

416. 牙 法 [fa] ↔ [Φa (齒)]

齒の事は中国語で「牙」と言う。

417. 指 盈必 [inpi] ↔ [iumbi (指)]

bの前に鼻音が有る。iとiuにずれが有る。

418. 心 各各羅亦 [kokoloi] ↔ [kokoro (心)]

「亦」は収尾音として誤記されたと考える。稲葉本は「各羅」に「谷羅」と有る。

419. 皮 嗑哇 [khaua] ↔ [kaua (皮)]

420. 肉 世世 [sisi] ↔ [siji (肉)]

421. 肥 各也貼 [koiethie] ↔ [koiete (肥えて)]

原本と諸本に「也」は「乜」であって、渡辺先生と大友先生の説に従い訂正。

422. 瘦 牙世貼 [iaʃithie] ↔ [iasete (瘦せて)]

十一 衣服門

423. 衣 急那木那 [kinomuno] ↔ [kinumono (絹物)]

424. 鞋 不牙 [puia] ↔ [puia (靴)]

伊波先生の説に従う。もともとは琉球方言である。沖縄語辞典(216)「huja、靴」。対音字から見ると、第一音節子音は「h、Φ」ではなく、もっと古い「p」である。

425. 靴 谷都 [kutu] ↔ [kutu (靴)]

第二音節子音は「ts」ではない。

426. 襪 那谷也 [nokumie] ↔ [nukume (温め)]

琉球館訳語「襪 都姑也」、陳侃使琉球録「襪 都谷セ」と何かの関連が有る気がするが、一応伊波先生に従う。

427. 褌 法各馬 [fakoma] ↔ [Φakama (袴)]

428. 帯 文必 第272条と同じ。

429. 綿布 木綿 [mumien] ↔ [mumen(木綿)]

430. 綿 哇答 [uata] ↔ [uata (綿)]

431. 帳幔 嗑照 [khatʃau] ↔ [katʃiau (蚊帳)]

第271条を参照。

432. 夏布 那那 [nono] ↔ [nuno (布)]

夏布、苧麻の繊維で織った布、夏の着物によく用いられる。

433. 紵絲 樹司 [ʃiusi] ↔ [tʃioʃi (苧糸)]

434. 官絹 活見 [xuokien] ↔ [xokken (北絹)]

日葡辞書(256)「北絹、シナ産の薄い織物の一種。」

435. 衣袖 孫貼 [sunthie] ↔ [sonde (袖)]

第二音節子音dの前に鼻音が有る。

436. 舖蓋 世近木那 [ʃikinmuno] ↔ [xikimmono (敷物)]

舖蓋、布団の事。諸本は「舖」に「鋪」と有り、同義異體字である。

437. 紗帽 刊不立 [khanpuli] ↔ [kamburi (冠)]

第240条「笠」を参照。

438. 枕頭 麻谷喇 [makula] ↔ [makura (枕)]

439. 圓頸 谷必吾哇世 [kupiuaʃi] ↔ [kubiuouaʃi (首おはし)]

日葡辞書(723)「おはし、高貴の方が……にいらっしゃる、……でいらっしゃる。」

440. 皮褌 嗑哇法各馬 [khauafakoma] ↔ [kauaΦakama (皮袴)]

441. 皮襖 嗑哇急那木那 [khauakinomuno] ↔ [kauakinomono (皮絹物)]

皮絹物、漢製和語。以下の「手巾」もそうである。

442. 手巾 貼那急那木那 [thienokinomuno] ↔ [tenokinumono (手の絹物)]

十二 飲食門

443. 茶 札 [tʃa] ↔ [tʃia (茶)]

444. 酒 撒急 [saki] ↔ [sake (酒)]

445. 湯 由 [ieu] ↔ [iu (湯)]

中国語の「湯」は吸物の事である。

446. 油 安不喇 [anpula] ↔ [ambura (油)]

bの前に鼻音が有る。

447. 塩 世倭 [ʃiuo] ↔ [ʃiuo (塩)]

448. 醬 乜宿 [miesu] ↔ [miso (味噌)]

449. 醋 寺 [sɪ] ↔ [su (酢)]

450. 飯 乜世 [mieʃi] ↔ [meʃi (飯)]

451. 肉 世世 第420條と同じ。

452. 餅 牙急莫只 [iakimotʃi] ↔ [iakimotʃi (焼餅)]

諸本は「莫」に「木」[mu]と有る。

453. 麪 燒夫 [ʃaufu] ↔ [ʃiauΦu (生麩)]

第一音節母音は[o:]ではない。

454. 糖 撒刀 [satau] ↔ [satau (砂糖)]

第二音節母音は「o:」ではない。

455. 香 稿巴世 第256條と同じ。

456. 臭 枯撒撒 [khusasa] ↔ [kusasa (臭さ)]

457. 喫 吾馬里唆 [umaliso] ↔ [umariso: (埋まり候)]

埋まり候、「御腹が一杯でございます」の意味。

458. 豆腐 刀夫 [taufu] ↔ [taufu (豆腐)]

第一音節の母音は「o:」ではない。

459. 麩筋 夫斤 [fukin] ↔ [ɸukin (麩筋)]

460. 花椒 三肖 [sansiau] ↔ [sanɕiou (山椒)]

諸本は「肖」に「焼」[ɕau] と有る。

461. 胡椒 谷焼 第282条と同じ。阿波国本、福葉本は「谷」に「火」[to] と有る。

462. 請酒 撒急農密 [sakinuɲmi] ↔ [sakenommi (酒飲み)]

第三音節の子音mの影響を受け、前の音節に鼻音が附いている。

463. 喫酒 撒急吾莫里唆 [sakiumoliso] ↔ [sakeumariso: (酒埋まり候)]

諸本は「莫」に「馬」と有る。

464. 酒醉 撒急那約答 [sakinoiota] ↔ [sakenoiotta (酒の酔った)]

465. 燒茶 扎那哇嗑斜 [tʃanouakhasie] ↔ [tʃianouakase (茶の沸かせ)]

466. 煮飯 七世哇嗑斜 [mieɕiuakhasie] ↔ [meɕiuakase (飯沸かせ)]

467. 白酒 世禄亦那撒急 [ɕiluinosaɕi] ↔ [ɕiroinosake (白いの酒)]

468. 黄酒 急密撒那撒急 [kimisanosaki] ↔ [kimisanosake (黄みさの酒)]

469. 斟酒 撒急莫的急答里 [sakimotikitali] ↔ [sakemottekitari (酒持って来たり)]

諸本は「莫」に「木」が有る。

470. 酒糟 撒急各司 [sakikosɔ] ↔ [sakekasu (酒糟)]

471. 飽了 法喇福谷禄禄 [falafukululu] ↔ [ɸaraɸakuraru (腹張くる)]

472. 餓了 法喇分答禄亦 [falafuentalui] ↔ [ɸaraɸindarui (腹ひだるい)]

第四音節子音dの前に鼻音が有る。

十三 珍寶門

473. 金 谷嗑聶 [kukhanie] ↔ [kogane (黄金)]

474. 銀 世禄嗑聶 [ɕilukhanie] ↔ [ɕirokane (銀)]

475. 銅 阿各嗑聶 [akokhamie] ↔ [akagane (銅)]

諸本は「各」に「谷」が有る。

476. 鐵 谷禄嗑聶 [kulukhanie] ↔ [kurogane (鉄)]

原本は「禄谷」であった。諸本によって訂正。

477. 錫 司司 [sisi] ↔ [suzu (錫)]

478. 錢 熱尼 [zeni] ↔ [zieni (錢)]

479. 玉 亦石 [iji] ↔ [iji (石)]

恐らく実物の「玉」を見せられ、「石」と判断した。第49條を参照。

480. 鉛 納馬立 [namari] ↔ [namari (鉛)]

481. 珍珠 答馬 [tama] ↔ [tama (玉)]

482. 水晶 民足答馬 [mintsutama] ↔ [mindzutama (水玉)]

稻葉本は「馬」に「里」と誤る。

483. 硫黄 魚敖 [iuau] ↔ [iuau (硫黄)]

最後の部分は [au] で [o:] ではない。

484. 珊瑚 邪馬那答馬 [iamanotama] ↔ [iamanotama (山の玉)]

485. 琥珀 它喇那答馬 [tholanotama] ↔ [toranotama (虎の玉)]

486. 瑪瑙 吾馬那答馬 [umanotama] ↔ [umanotama (馬の玉)]

487. 玳瑁 嗑乜那各 [khamienoko] ↔ [kamenoco: (亀の甲)]

488. 金壺 谷嗑聶禿禄谷必 [kukhaniethulukupi] ↔ [koganeturukupi
(黄金鶴頸)]

第四音節の子音は「ts」ではない。

489. 金鍾 谷嗑聶撒幹都急 [kukhaniesakantuki] ↔ [koganesakanduki
(黄金盃)]

490. 水銀 民足世禄嗑聶 [mintsuʃilukhanie] ↔ [mindzuʃirogane (水
銀)]

491. 好銀 約亦世禄嗑聶 [ioiʃilukhanie] ↔ [ioiʃirogane (良い銀)]

好銀、良質の銀貨。

492. 低銀 哇禄亦世禄嗑聶 [ualuʃilukhanie] ↔ [uaruʃirogane (悪い

銀)]

低銀、純度低い銀貨。

十四 文史門

493. 書 福密 [fumi] ↔ [ɸumi (文)]

494. 詩 習 [si] ↔ [ʃi (詩)]

清代中期に入ると、中国語「習」の発音は舌面音 [çi] に変わって行く。「ç」は「s」より「ʃ」に近く、早く起る音韻現象として、この「習」は既に「çi」になっている可能も考えられる。

495. 画 葉 [ie] ↔ [ie (絵)]

496. 經 交 [kiau] ↔ [kiau (経)]

母音は「io:」ではない。

497. 字 只 [tʃi] ↔ [ʒi (字)]

498. 寫字 開的 [khaiti] ↔ [kaite (書いて)]

499. 念經 交約密 [kiauiomi] ↔ [kiaoiomi (経読み)]

500. 讀書 福密約密 [fumiiomi] ↔ [ɸumiiomi (文読み)]

501. 勅書 着谷少 [tʃiokuçau] ↔ [tʃiokuʃio (勅書)]

502. 習禮 列那納酪 [lienonalau] ↔ [lenonara:u (礼の習ふ)]

十五 聲色門

503. 青 谷禄亦 [kului] ↔ [kuroi (黒い)]

504. 紅 阿蓋撒 [akaisa] ↔ [akasa (赤さ?)]

本来は「赤い」、「撒」は後に入れた可能性が有る。

505. 黄 急密撒 [kimisa] ↔ [kimisa (黄みさ)]

506. 白 世禄亦 [ʃilui] ↔ [ʃiroi (白い)]

507. 黒 谷禄亦 [kului] ↔ [kuroi (黒い)]

508. 緑 莫容急 [moiungki] ↔ [moiongi (萌黄)]

諸本は「莫」に「木」[mu] と有る。第三音節子音gの前に鼻音が有る。

509. 紫 母喇撒急 [mulasaki] ↔ [murasaki (紫)]
510. 大紅 倭亦阿蓋亦 [uoiakaii] ↔ [uoiakasa (大い赤い)]
諸本は「阿蓋亦」に「阿蓋撒」と有る。
511. 浅緑 阿撒撒莫容急 [asasamoiun̄ki] ↔ [asasamoiongi (浅さ萌黄)]

十六 数目門

512. 一 亦只 [it̄ʃi] ↔ [it̄ʃi (一)]
513. 二 尼 [ni] ↔ [ni (二)]
514. 三 散 [san] ↔ [san (三)]
515. 四 世 [ʃi] ↔ [ʃi (四)]
516. 五 鷲 [ŋo] ↔ [ŋo (五)]
517. 六 禄谷 [luku] ↔ [roku (六)]
稻葉本には「谷」が無い。
518. 七 世只 [ʃit̄ʃi] ↔ [ʃit̄ʃi (七)]
519. 八 法只 [fat̄ʃi] ↔ [Φat̄ʃi (八)]
520. 九 谷 [ku] ↔ [ku (九)]
521. 十 柔 [zeu] ↔ [ziou (十)]
522. 二十 尼柔 [nizeu] ↔ [niziou (二十)]
523. 三十 散柔 [sanzeu] ↔ [sanziou (三十)]
524. 四十 世柔 [ʃizeu] ↔ [ʃiziou (四十)]
525. 五十 鷲柔 [ŋozeu] ↔ [goziou (五十)]
526. 六十 禄谷柔 [lukuzeu] ↔ [rokuziou (六十)]
527. 七十 世只柔 [ʃit̄ʃizeu] ↔ [ʃit̄ʃiziou (七十)]
原本に「只」の所に「谷」[ku]があり、諸本により訂正。
528. 八十 法只柔 [fat̄ʃizeu] ↔ [Φat̄ʃiziou (八十)]
529. 九十 谷柔 [kuzeu] ↔ [kuziou (九十)]
530. 一百 亦只法谷 [it̄ʃifaku] ↔ [it̄ʃiΦiaku (一百)]

531. 二百 尼法谷 [nifaku] ↔ [niΦiaku (二百)]
 532. 一千 亦只先 [itʃisien] ↔ [itʃisen (一千)]
 533. 二千 尼先 [nisien] ↔ [nisen (二千)]
 534. 一萬 亦只瞞 [itʃiman] ↔ [itʃiman (一萬)]
 535. 二萬 尼瞞 [niman] ↔ [niman (二萬)]

十七 方隅門

536. 東 分各世 [fuenkoʃi] ↔ [Φinggaji (東)]

第二音節gの前に鼻音が有る。

537. 西 尼世 [niʃi] ↔ [niʃi (西)]
 538. 南 密納密 [minami] ↔ [minami (南)]
 539. 北 急答 [kita] ↔ [kita (北)]
 540. 中 納蓋喇 [nakaila] ↔ [nakara (中ら)]
 541. 前 馬也 [maie] ↔ [maie (前)]

原本と諸本は全て「也」に「乜」[mie] と有って、誤字であった。

542. 後 吾世禄 [uʃilu] ↔ [uʃiro (後)]

原本は「禄世」であって、諸本によって訂正。

543. 左 分答里 [fuentali] ↔ [Φindari (左)]

第二音節dの前に鼻音が有る。

544. 右 民急 [minki] ↔ [mingi (右)]

gの前に鼻音が有る。原本と諸本に第三対音字「里」が有り、「左」による誤記である。

545. 内 吾只也 [utʃiie] ↔ [utʃiie (内へ)]

原本と諸本に「也」はもとに「乜」[mie] と有り、「也」(格助詞「へ」の対音)の誤字だと考える。

546. 外 活蓋也 [xuokaie] ↔ [xokaie (外へ)]

上條と同じ様に「乜」の誤記であった。

十八 通用門

547. 長 納蓋世 [nakaiʃi] ↔ [nagaʃi (長し?)]

もとは「長い」、後に「世」を入れた可能も有るかもしれない。

548. 短 密世加世 [miʃikiaʃi] ↔ [mizikaʃi (短し)]

549. 高 答蓋撒 [takaisa] ↔ [takasa (高さ?)]

稲葉本は「撒」が無い。もともと「撒」は無く、「高い」だと考える。

550. 低 非近撒 [fikinsa] ↔ [ʔikusa (低さ)]

対音字音 [kiu] は [ku] と合わず、誤字だろうか。

551. 遠 它撒 第 353 條と同じ。

552. 近 齊加撒 第 54 條と同じ。

553. 上 嗑密 [khami] ↔ [kami (上)]

554. 下 世莫 [ʃimo] ↔ [ʃimo (下)]

諸本は「莫」に「木」と有る。

555. 厚 阿都亦 [atui] ↔ [atui (厚い)]

第二音節子音は「ts」ではない。

556. 薄 吾司亦 [usii] ↔ [usui (薄い)]

諸本は「司」に「唆」[so] が有る。

557. 寛 納蓋 [nakai] ↔ [nagai (長い)]

第 65 條を参照。

558. 窄 斜巴 [siepa] ↔ [sebai (狭い)]

第 66 條「河窄 嗑哇斜巴世」。ここは「世」[ʃi] 或いは「亦」[i] を脱字した可能性が有る。

559. 大 倭吾亦 [uoui] ↔ [uoui (大い)]

諸本に「吾」が無く、「uo:i」に読むようになったかもしれない。

560. 小 祭塞 [tsisai] ↔ [tʃisai (小さい)]

561. 慢 申都蓋聶 [ʃintukainie] ↔ [ʃindukane (静かね)]

慢、「性質ののろい」意味も持ち、「静か」に近い。第二音節子音は「dz」

ではなく、その前に鼻音も有る。語尾「ね」は終助詞。諸本は「蓋」に「嗑」
[kha] と有る。

562. 緊 法牙撒 [faiasa] ↔ [Φaiasa (速さ)]

563. 舊 非撒世 [fisaʃi] ↔ [Φisaʃii (久しい)]

第 115 條を参照。

564. 新 阿答喇世 [atalaʃi] ↔ [ataraʃii (新しい)]

565. 深 福加撒 [fukiasa] ↔ [Φukasa (深さ)]

566. 浅 阿撒撒 [asasa] ↔ [asasa (浅さ)]